

パウダースノーを世界にアピール

ルスツリゾート イスラム圏の観光客受け入れ万全

北海道の魅力があふれるスノーリゾートに海外からの観光客が訪れている。世界最高のパウダースノーを求めてスキー、スノーボーダー、スノーアクティビティーなどで多くの観光客に、きめ細かいサービスを提供しているのが加森観光グループ（札幌市）のルスツリゾート。

国際的なリゾート施設として

充実しており、台湾、韓国、中国、香港、米国など海外から人気が高い。また、2、3年前から、新しくマレーシア、インドネシア、シンガポール、タイなど東南アジア諸国のイスラム文化圏からの観光客を勧奨するために受け入れ体制や環境を整えてきた。

とくに、東南アジア、中東地域などイスラム文化圏は、食事、お祈りなどイスラム教の戒律に従っていることを示す「ハラル」が整備されていないと旅行にも支障をきたしている。「このた

めに、マレーシアハラルコーポレーションが推奨する非イスラム圏域の飲食店に適應するローカルハラルの認証を受けた」（仙野雅則・加森観光社長室長）とルスツリゾートだけでなく、札幌アートホテル、サホロリゾート、夕張リゾート、アートホテル大森など加森観光グループの5施設が受けた。そのために、社内での勉強会、研修などで豚、アルコールなど禁忌食材、食器類、厨房施設などを使い分け、また礼拝堂などお祈り場所の設備を設けるなど環境を整えた。

北海道は自然に恵まれ、魅惑的な雪国にあこがれている観光コースを設定して、マレーシア、タイ、インドネシア、シンガポールからの観光客も増えてきた。先月21日には、マレーシア航空でマレーシアから訪れる観光客約240人のうち、約60人がハラルを希望した。「マレーシアから訪れた観光客に、道産食材を中心にハラル料理を提供して、スキー、雪上のアクティ

アジア圏を中心に冬の北海道を楽しむ観光客が増加しているルスツリゾート



パノラマゲレンデではスノーモービルが楽しめる

イスラム文化圏の観光客にはハラル認証された食材でハラル御膳を提供



ハラル食材の料理を楽しむマレーシアからの観光客



ビティーなど冬の北海道を満足してほしい」（仙野社長室長）と国際社会に対応したリゾート施設を目指している。

グローバル化に伴い、日本を代表するスノーリゾート地域は、慣習や生活環境が相違する

観光客、ビジネスマンが世界各国から訪れている。

そのために、その国々のニーズに応え、自然、食、温泉など、北海道ならではの魅力を体験できるサービスに努めている。